



社員代表選挙!

JESSの社員代表が行われ引き続き5管区すべての代表を勝ち取るべく奮闘しましたが、代表を勝ち取れたのは成田管区のみという結果になりました。前回選挙となったのは2管区のみで他は信任投票でしたが、今回はすべての管区に対抗馬が立っての選挙となり会社側が本腰を入れた感は否めません。

「敗軍の将は・・・」のこゝろにもありますが語らずにはいられない社員代表選挙です。本来事業所ごとの社員代表であるのに支店が仕切り、投票形式は管区任せ。投票が始まって投票用紙が配布されておらず、管理者が巡回してその場で投票させる・・・何のための投票期間なのか。投票期間内で

あれば「有権者」はいつでも投票でき、管理者の都合でするものではないはず。我々が動ける期間を少しでも短くしたいのか、長い投票期間に比べて立候補者の届け出確定後の選挙運動期間が短すぎるのも問題です。

「社員代表選挙」は会社が仕切るのではなくは社員を含めた管理委員会を立ち上げ透明性を図ってこそ会社が言うような公平・公正を保てるのではないのでしょうか。残念な結果に終わってしまいました。皆様のご支援に感謝いたします。(高橋)



毎年恒例のダイヤ改正が実施されましたが使い勝手が良くなったのを感じられない「改正」です。コロナ禍による利用者減を理由に終電を前倒しで繰り上げていました。さらには手を加えたダイヤとなりました。

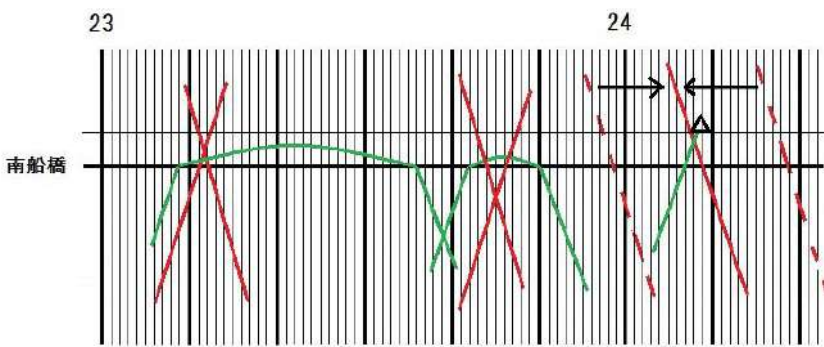
南船橋では相変わらず蘇我からの内・外房線への最終が絡む武蔵野線から京葉線への乗り継ぎ時分の悪さが解消されていません。同一ホームでの乗り継ぎならいいのですが移動があるため2分では綱渡り状態となります。解消されるどころか東京行き最終前の1本削減され列車間合いを詰めるために最終を10分繰り上



ダイヤ改
吾注意列車が
また増える

げとなりましたがその結果、武蔵野線と東京最終列車の到着は2分(厳密には1分45秒)しかなく、ホーム移動を要する「接続要注意列車」が増えてしまいました。わずかに遅れただけで車掌へ発車抑止するなど土休日関係なくハラハラする毎日です。

会社は収益が落ち込み少しでも稼げと言いますが無駄な



タクシー代行が発生しかねないダイヤを見直してほしいものです。

新型車両を売り文句にワンマン運転が始まりましたが運転士の負担増や編成両数減による混雑や案内不足など当初から指摘された安全への不安とサービス低下が具体化してきています。会社は現状を認識し地元自治体や利用者とは真摯に向き合うべきではないでしょうか。

千葉地本
HP開設!!



次回非番者集会

5月14日(金)
地本にて11時(予定)

